

事業番号	10 02 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課				
		実施期間	S48 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性	②県民一人当たり家計可処分所得	⑥就業率						
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造						
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入								

1 現状と課題

- ・本県の森林が育てる時代から利用する時代を迎え、主伐の推進や県産材供給体制の整備等により、素材生産活動が本格化しており、林業就業者の確保と育成が必要
- ・林業就業者の雇用は、林業作業の季節性や事業主の経営基盤のぜい弱性により必ずしも安定しておらず、労働災害の発生率は全産業で最も高い

2 事業目的

林業就業者の確保・育成を図るため、林業事業体の事業の合理化、雇用管理の改善等を推進するとともに、多様な人材の活用を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①新規就業者の確保と就業環境の改善

- ・就職説明会や就業希望者向けの研修、オンラインセミナー等の機会の確保
- ・林業事業体の福利厚生の充実に向けた支援
- ・安全訓練環境の整備、安全研修や安全パトロールの実施

②スマート林業の推進及びスマート林業技術を用いた課題解決

- ・スマート林業技術の実践を支援
- ・林業ICT化を担う人材の育成
- ・低コスト造林・広葉樹施業技術の実証

③事業拡大、経営改善に必要な資金の融資

- ・林業・木材産業に携わる事業者等が、施設や設備等の導入にあたって必要となる資金を融資
- ・林業大専攻生及びその卒業生が就業準備及び研修参加に必要な資金を融資

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	林業就業者数	人	1,449	1,499	↗	1,501 (速報値)	↗	2,200	未達成	人材育成等施策の効果を評価するため、県内の林業就業者数を目標として設定	
②	新規林業就業者の1年定着率	%	90.7	83.6	↘	86.6 (速報値)	↗	89.0	未達成	人材育成等施策の効果を評価するため、1年定着率を指標として設定し、前年度より向上することを目標として設定	
③	素材生産量	千m ³	570	625	↗	629	↗	800	未達成	林業成長産業化を評価するため、県内の素材生産量を目標として設定	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	23,282	143,379	3,044	169,705	10,583	106,479	6.1
R3年度	0	163,976	△ 69,685	94,291	10,654	68,363	5.0
R2年度	2,638	240,971	△ 34,498	209,111	10,856	204,026	3.6

事業番号	10 02 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課		

6 主な取組実績と成果

<p>①新規就業者の確保と就業環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同就職説明会を2回、信州就林セミナーを2回開催し、セミナーでは、実際に現場で働く方を講師に招くなど参加者のニーズに合った実施となり、新規就業者の確保に寄与した ・退職金共済掛金を642名、蜂アレルギー検査受診費を46名に対して助成し、林業事業体の福利厚生の充実に寄与した ・安全訓練環境の整備、安全研修や安全パトロールの実施により、林業労働災害発生件数は前年度より減少した <p>②スマート林業の推進及びスマート林業技術を用いた課題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業事業体によるスマート林業技術の実践について10者を支援し、高精度GNSSによる測量など、現場作業の効率化に寄与 ・林業ICT化を担う人材の育成のための研修会6講座を実施し、計201名の参加者に対してスマート林業技術の操作研修等を行い、現場技術者の知識・技術の向上に寄与 ・低コスト造林・広葉樹施業技術の実証に1箇所で行き組み、センサーカメラによる二ホンジカの行動把握により、低コスト造林技術の検証に寄与 <p>③事業拡大、経営改善に必要な資金の融資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業事業体の経営改善及び素材生産量向上を図るため、改善資金の案内を年間26件行った ・林業大学校生・卒業生の就職準備等を目的とした就業促進資金の案内や、就業支援給付金（2年生9名、1年生6名）の交付を行った結果、林業大学校生の林業関係の就職率は90%に上った
--

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	林業就業者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
林業就業者数は、地方回帰の傾向等のニーズに対応したセミナーや、雇用を奨励する新規事業等を実施したことにより、前年度よりも増加し、令和2年度から3年連続の増加となった。							
指標②	新規林業就業者の1年定着率	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
新規就業者向けの蜂アレルギー検査受診費用や、エピネフリン注射器購入経費の補助等の福利厚生対策の実施及び、中途採用者向けの林業基本講座の開催や、資格取得費用助成等を実施したことにより、定着率は前年度より向上した。							
指標③	素材生産量	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
県外合板工場（R4年素材生産量：合板用231千m ³ ）やバイオマス発電等の需要増加（R4年素材生産量：バイオマス用162千m ³ ）に伴い、素材生産量は541千m ³ （H29）から629千m ³ （R4）へ増加した。							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他産業に比べ、労働災害の発生率が依然として高く、処遇も低位に留まっている就業環境の改善と経営基盤の強化が課題である ・コロナ禍を経て多様な働き方が定着していることを踏まえ、林業においても多様な関わり方を積極的に受け入れていく必要がある ・スマート林業技術の導入や技術者の育成が遅れている林業事業体では業務の効率化が図られず、事業体間で格差が生じている
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主伐・再造林の推進など、ゼロカーボン実現や林業振興のための森林整備を支える林業人材の確保・育成を図るため、これまでの施策に加え、林業移住支援金や小規模事業者の支援など、効果的な施策を講じることで課題解決を図る ・スマート林業技術の導入支援や技術者の育成により、林業事業体の業務の効率化など、スマート林業技術を用いた課題解決を図る

事業番号	10 02 02	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業		部局	林務部	課・室
					信州の木活用課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	林業就業者確保・育成事業		38,157 千円	42,500 千円	70,759 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業労働力対策事業	直接 補助金	・事業の効率化と雇用管理体制の改善を一体的に行う事業体を認定 ・林業就業者確保、林業事業体合理化のための共同就職説明会等を開催 共同就職説明会の開催：2回、信州就林セミナーの開催：2回		
2	林業就業支援事業	直接	林業就業者確保のため、林業大学の学生が研修に専念できるよう生活資金を 給付 給付対象者：15人、給付額：15,975千円		
3	林業労働力緊急確保対策奨励事業	委託	林業事業体が経営規模の拡大に向けて新規就業者を3か月以上雇用した場合に 奨励金を交付 交付対象者：18人、交付額：6,380千円		
4	団体有林等主伐・再造林推進事業	委託	主伐・再造林に関心を寄せる団体等に対し、先進的な取組を行っている事例の紹 介、主伐計画や収益性等の施策を提案 団体有林調査数：3団体、委託料5,137千円		
5	林業事業所エネルギーコスト削減促進 事業	補助金	持続可能な経営基盤を構築するため、省エネルギー設備等の導入を支援 支援事業者数：10者、補助額：20,410千円		
6	林業労働力活用促進対策事業	委託	地域や事業体間における事業量の格差の解消に向けて、林業労働力が不足する 地域への労働力のマッチング体制の構築等 マッチング実施数：6箇所、同意取得等条件整備：14.95 ha		
7	林業就労条件整備促進事業	補助金	林業事業体の就労条件改善と林業就業者定着のため経費の一部を助成 退職金共済掛金：642名分、蜂アレルギー検査：46名分、エピネフリン注射器購 入：18人、振動病特殊健診：629人分		
8	林業労働災害防止対策事業	直接 補助金	林業労働災害防止のための巡回指導、労働安全衛生対策セミナー等の開催及び 安全指導員等の養成のためのプログラムの構築 巡回指導：32回、労働安全衛生対策セミナー等：2回		
9	林業士等養成事業	直接	林業士を毎年10名養成するため、森林・林業セミナー・林業士入門講座を開催 森林・林業セミナー対象者：17名、林業士入門講座対象者：5名		
10	里山整備利用地域リーダー養成事業	委託	里山整備利用地域リーダー研修、里山活用の技術、安全講習の開催 リーダー育成研修等：35回		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	林業事業者支援事業	142,410 千円	0 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	林業改善資金貸付金	貸付金	林業経営の効率化・林業就業者の福祉向上のため、林業用施設・機械等の導入に必要な資金の貸付を実施 【貸付実績：0件】	
2	林業就業促進資金貸付金	貸付金	林業就業者確保のため、（一財）長野県林業労働財団を通じて林業就業者に必要な資金の貸付を実施 【貸付実績：0件】	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	森林組合等活性化対策事業	23,459 千円	25,863 千円	35,720 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	森林組合等活性化対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合法に基づく常例検査の実施 ・生産森林組合・入会林野の管理・経営改善のための指導・助言 全面検査数：12組合（うち会計士同行：6組合）、部分検査数：6組合	
2	スマート林業構築普及事業	補助金 委託 直接	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート林業技術の実践を支援 ・林業ICT化を担う人材の育成 ・低コスト造林・広葉樹施業技術の実証 支援対象者：10者、研修会参加者：201名、試験・実証地：1箇所	
3	持続的な林業経営の確立支援事業	委託 直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・県内民間事業者の課題に応じた研修や専門家の派遣、環境整備等により経営改善等の支援を実施 ・組合運営・経営に係る課題等についてのセミナー開催を支援 集合研修：3回、個別研修：8事業者	